



京都市学校歴史 博物館だより

VOL.
21

平成23年7月発行



正門、石塀は、国登録文化財

本館は、京都の学校に関する資料の保存・研究・展示を進める博物館です。

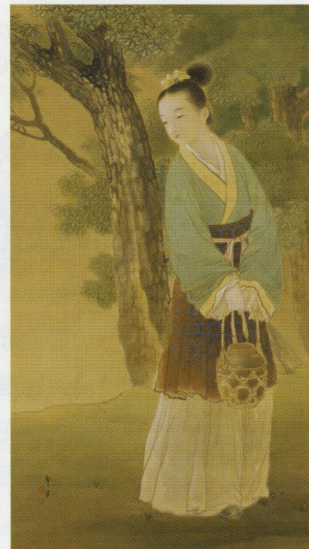
次回 予告

企画展「^{なかぎょう}(仮)中京学校物語 ～閉校校を中心に～」

平成23年9月24日(金)から開催予定

今回の企画展は、現在開催中の「京都学校物語・下京区編」に引き続き、中京区内の閉校した小・中学校の歴史を振り返ります。現在中京区には、洛中小学校・高倉小学校・御所南小学校、京都御池中学校があります。いずれも、明治2年に開校した番組小学校からの歴史をもつ学校が、児童・生徒数の減少によって閉校し統合したことによって、あらたに誕生した学校です。

学区とともにあゆんできた各学校の歴史は、閉校を迎えてひとまず幕を下ろし、統合でかたちを変えて次世代に引き継がれていきます。その歴史を語ってくれるものが、各学校で大切に保管されてきた歴史資料や美術品です。今回も、歴史資料と美術品に学校の歴史を語ってもらい、それを通じて、多くの方に「京都の学校」の奥深さを感じ取っていただけるような展示を計画中です。どうぞご期待ください。



姜詩妻図 菊池契月 明治40年頃
元 明倫小学校蔵

開催中

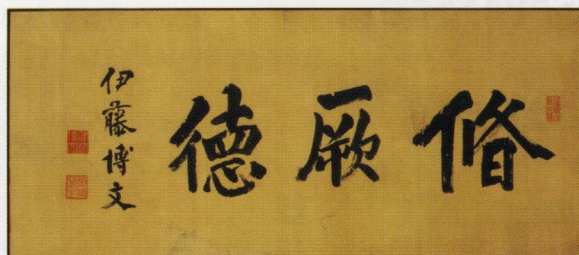
企画展「収藏品と写真でつづる 京都学校物語 ～下京区編～」

平成23年7月18日(月・祝)まで開催

全国的に拍車がかかる少子化によって、京都では小中学校の統合が進んでいます。子どもたちは学区の学校ではなく、新しい学校へ通い、大勢の友達と出会います。しかし、校区に学校がなくなっても、学区の人々が子どもたちに向ける温かいまなざしは変わりません。今回はこのように統合を行った下京区内の小中学校に焦点をあて、遺された資料や写真でそのあゆみを振り返りました。番組小学校開校時の貴重な資料や、おじいさんやおばあさんが使っていた今では懐かしい教具類、往時の学校の姿・学校生活・校区の様子などを写した



学芸会 昭和59年 元大内小学区提供



修厥徳 明治期 元修徳小学校蔵

写真などを

展示しています。また、各学校の卒業生である作家が、学校へ寄贈したすばらしい美術の資料は、昔から学校で大切に保管され、現在に引き継がれた「たからもの」です。これら数々の展示をご覧いただき、先人たちの学校への熱い思いを感じ取ることができます。

学校歴史博物館の魅力を語る

当博物館は、平成 10 年に開館し今年で 13 年目を迎え、京都市では比較的新しい博物館です。明治 2 年（1869 年）に、日本で最初に番組小学校と呼ばれる学区制の小学校が造られました。その番組小学校の創設に関する資料や学校に遺された教科書、教材・教具などの教育資料、卒業生などが学校に寄贈した数々の美術工芸品を収集・保存して展示しています。現在の教育環境とは全く異なる中でどのような教育が行われていたかを展示品を直接目にして理解することができます。

また、博物館では、様々な講座・教室を開催しています。例えば、合唱教室や唱歌・童謡教室、日本画教室、小学生を対象にした夏休み・冬休み体験教室等です。竹細工で紙玉鉄砲や和風を手作りしたりして、作る喜びを経験できる楽しい「ひととき」を、学校歴史博物館で体験してみませんか。こちらに一度も来館されたことがない方はぜひともお立ち寄り下さい。（当館事務局長 梅溪秀秋）



昔の学校あれこれ

第十四回

卒業文集

今、私の手元に一冊の文集がある。

終戦後しばらく使われていた、茶色く焼けた粗末な紙。

しかし、そこに刻まれている、力強い文字。

「文集 卒業記念 新洞 六年ろ組」

表紙をめくると、数枚の紙が大切に折りこまれている。

そのうちの、ハガキサイズほどの一枚。

「皆さんをお送りしてから早や五年。どんなにして居られますか。（中略）」

卒業のときの約束、文集をやっとお届けします。あれからしばらくプリント等が全く出来ない程弱って気になり乍（なが）引用者）ら放っておいた事をお詫びします。（中略）皆さんと楽しく生活出来た事を感謝して居ります。これからも、どうぞよろしく。お家の方々にもよしなにお伝え下さい。大橋」

文集には、豊かな感受性にあふれたタイトルが並ぶ。「けんか」「ぼくの顔」「日本は独立国」

「ちょうちょう」など。続いて、「六ろ一同」作詞作曲の六年ろ組「級歌」の楽譜、その後には、

ろ組全員のよせがき。

文字は全て、手書きである。大きな文字、ひかえめな文字、力強い文字、そして、あたたかな文字。すべての文字に、豊かな命が宿っている。

ところで、大橋先生はなぜ、5 年もの間、文集編纂ができないほど「弱って」しまったのだろうか。なぜ 5 年もの年月を待ち、あえて大橋先生自身の手によって、この文集が完成させられたのだろうか。今となっては知る由もない。しかしそこに、軍国主義の戦中教育を担った教師の内心的苦しさ、戦後の貧しい生活を生徒と過ごしたかけがえのない思い出を、私は感じる。大橋先生は、苦しさには耐えた。それを支えたのは、何だったのか。

文集の最後に、病床から復帰し卒業生との「約束」をはたした、大橋先生のことばがある。

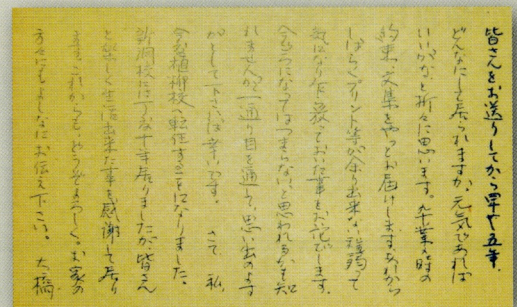
人の心のあたたかさにふれた時
理くつなしに 涙が こみあげます
もののいのちのふしぎさ！

大橋まり

自分の役目を全うしたかのような、穏やかな表情の、卒業文集。私にはそれが、そっと瞳を閉じた大橋先生の笑顔に、思えてならない。

人の心のあたたかさ、理くつなしの涙。
我々の宝物として、永遠に残していきたい。

（当館職員 和崎光太郎）



来館者の感想から

当館は、小学生から高齢者の方まで、幅広くお楽しみいただける博物館です。本コーナーでは、2010 年度における当館来館者の声を、そのままお届けいたします。

びっくり

- ・ 1962 年の給食にパンが 3 まいもついていて しました! たべれたのかな? (小学生)
- ・ すごくわかりやすい説明をたくさんしてもらえてよかったです。ありがとうございました。(中学生)
- ・ 給食の変化が おもしろかった。音楽の本も時代ごとにならんでいて わかりやすかった。(高校生)
- ・ 卒論で、教育かこどもの歴史について調べようと思っていたので、参考になりました。(大学生)
- ・ ぜひ 京都以外の全国の教員 に、この博物館およびねらいを紹介いただきたい。(40 代)
- ・ 京都の先人達が教育に熱心に取り組んできた経緯がよくわかった。良い展示品が多くある博物館。(50 代)
- ・ 私は昭和 5 年生れですから、今回の展示資料写真等みな、拝見させていただき 涙 が出ました。又もう一度来たいと思います。(80 代)

なっかしく

ボランティア市民学芸員の

声

上京第 24 番組小学校

横田 俊一



定年を迎えるころ城巽地区に住むようになった。二条城の巽の方角にあたるので、城巽というのだそうだ。上京 24 番組小学校として生まれた学校は城巽尋常小学校や城巽中学校等名前を変えながら 1 年ほど前から、京都

堀川音楽高校に生まれ変わった。

この町の行事はすべてと言っていいほどこの学校を中心に動いている。そしてこの町に住む人の団結力や行動力はすごい。地域のお年寄りや子供達、また地域社会へ献身的に奉仕する姿は実にすばらしい。この団結力や行動力はどこからきているのだろうと不思議に思っていた。

京都市学校歴史博物館に市民学芸員としてボランティア活動をはじめ、明治の学校の創設の歴史等を勉強していく内、なるほどと理解出来るようになってきた。市民が多額の寄付や、竈金、府からの借金等で学校を創設していく件は感動的であった。この精神は今もしっかりこの町内に根付いている。

私は良い町に住めたなと思っている。そして微力でもお手伝いが出来ればいいなと思い、地域の活動に参加している。この素晴らしい伝統が代々引き継がれ、この町が益々発展して行くよう頑張りたいものである。

私と学校歴史博物館

小川 妙子



以前の当番は、日曜日の午前を担当させていただいていました。当時、朝一番の来館者は、主に他府県からの見学者が多く、中でも現職の先生方が多かったと思います。その方々が共通して驚かれたことは、学校の宝物になっている美術品のほと

んどが寄贈された品々であることでした。

また、開発途上国から帰ってこられた先生から、現地で使われている「石盤」は板の上に砂をまいた物を使っていて、ここに展示してあるような立派な物ではないというお話を聞かせていただいたことがあります。

さらに、ある県の職員さんで閉校跡の活用方法の参考のためにお願いいただきました。京都の町衆の心意気に感動されるとともに自分達の地域との歴史的な違いに驚かれていました。

このように、立場の違う方々から様々なお話を聞かせていただける機会に感謝するとともにこの素晴らしい活動をこれからも続けていきたいと思っています。

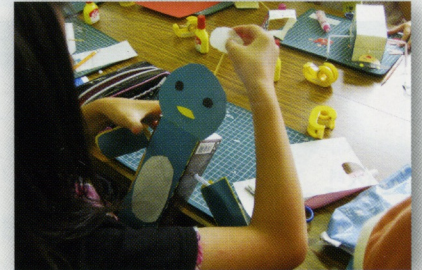


見る博物館から参加・体験する博物館へ

夏休み
開催

子ども体験教室「おもちゃの手作り教室」(小学生対象)

当館では、毎年夏休みに合わせて小学生を対象とした体験教室を開催しております。その中でも、特に人気があるのが「おもちゃの手作り教室」です。平成 23 年度は低・中・高学年と分かれて、それぞれ牛乳パックを使って動くおもちゃを作ります。京都市小学校図画工作教育研究会の先生方が丁寧に教えてくださるので、子どもたちや保護者からも好評です。



平成24年2月
開催

昔の学校体験「京の手刺繍教室（仮）」(一般対象)

当館「元 開智小学校」の懐かしい教室で、明治の女学校で習っていた和刺繍（京繍）を体験できます。京都刺繍協同組合の職人さんが指導にあたってくださいるので、初心者の方も安心です。図柄は二種類（昨年度は梅と蝶）あり、どちらか好きな方を選んでミニ風呂敷に刺繍していきます。参加者が糸の色を自由に決められるので、同じ柄でもそれぞれ違った雰囲気作品に仕上がります。



企画展

今後の主な企画展・行事

なかぎょう

(仮) 中京学校物語 ～閉校校を中心に～

平成 23 年 9 月 24 日(土)～平成 24 年 2 月 13 日(月)

参加・体験できる行事一覧

行事（一般対象）	曜日	日程	体験教室（小学生対象）	曜日	日程
館長談話室	火	毎月 ※8月は休み	にほん画に挑戦!	日	7/31 8/7
合唱教室	金	毎週 ※現在満席	明治の小学校 書写教室	土	7/23
日本画教室	火	隔週 ※現在満席	おもちゃの手作り教室	土	7/30 8/6
唱歌・童謡教室	月	9/26 10/3,17,24,31 2/20,27 3/5,12,19	むかしの学習を体験しよう!	日	7/24
古文書教室	金	9/2,9,16 12/2,9,16	和風を作ろう!	日	12/25
京繍教室	土日	2/4,5			

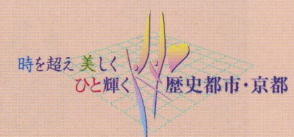
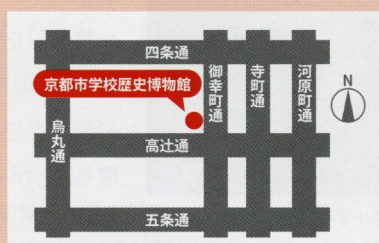
※日程などの変更の可能性があります。その他、開催時間など、詳しくはお問い合わせください。

TEL075-344-1305（9：00～17：00、水曜休館）

京都市学校歴史博物館

京都市下京区御幸町仏光寺下ル橘町437（元開智小学校）
TEL. 075-344-1305 FAX. 075-344-1327
URL. <http://kyo-gakurehaku.jp>

- 入館料/大人200円 子ども（高校生以下）100円
（20名以上の団体/大人160円 子ども80円）
※京都市内の小・中学生は土・日は無料
- 開館時間/9：00～17：00（入館は16：30まで）
- 休館日/水曜日（休日の場合は翌日）
12月28日～1月4日



- 阪急電車/「河原町」駅下車 南西へ歩5分
- 地下鉄/烏丸線「四条」駅下車 南口改札東へ歩10分
- 市バス/「四条河原町」停下車 河原町通より西へ二筋目（御幸町通）より南へ歩5分